

高等学校 令和7年度

教科 地理歴史 科目 地図を楽しむ

教 科： 地理歴史 科 目： 地図を楽しむ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮書店））

使用教材：（新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して認識される社会課題としての自覚、我が国が国際社会や世界に対する役割、地理や歴史の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地図を楽しむ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：世界の諸地域について、各地の気候や生活文化について多面的・多角的に理解する。 技能：世界の諸地域について、身につけた知識をもとにプレゼンテーションする技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、地誌的に考察したり、考察したことを効果的に説明する力を養う。	地理に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	世界の大国としての中国について、歴史的背景や経済体制、政策、工業、人口、民族、自然、農牧業、資源、エネルギー、貿易、投資・援助といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それらを経済成長と関連づけながら地域の特徴を考察・理解させる。日本をはじめ世界各国に与える影響や、今後向きあふべき長い国際関係について探究させる。	<現代世界の諸地帯> 中国 朝鮮半島	知：中国の歴史的背景や経済、重工業、人口、民族、自然、農牧業について、経済成長と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 思：地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本の関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	○	○	○	13
	韓国としての韓国について、自然や文化、歴史的背景、経済発展、都市・人口問題、貿易といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それらを結びつけて地域の特徴を考察・理解させる。						
	東南アジアについて、歴史的背景や民族、農業、工業、都市問題、地域間連携といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それを多彩な文化と関連づけながら地域の特徴を考察・理解させる。	東南アジア 南アジア 西アジア・中央アジア	知：南アジアの歴史的背景や文化・民族、自然、人口、産業、経済連携について、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 思：東南アジアの歴史的背景や民族、自然、産業、地域間連携について、多彩な文化と関連づけながら考察することができる。	○	○	○	13
	西アジア・中央アジアについて、イスラームの教義やそれに基づく生活、地域紛争といった項目を整理しながら、地域の特徴を考察・理解させる。						
2 学 期	アフリカについて、自然や農牧業、歴史的背景・民族、産業、経済構造、地域紛争、国際関係といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、地域の特徴を考察・理解させる。	北アフリカ・サブサハラアフリカ ヨーロッパ	知：ヨーロッパの歴史的背景や民族、自然、農牧業、重工業、貿易と交通、地域連携について、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 思：地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本の関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	○	○	○	14
	ヨーロッパについて、印とその歴史的背景、民族、自然、農牧業、工業とエネルギー、貿易と交通、経済構造といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、地域の特徴を考察・理解させる。						
	ロシアについて、民族、体制の転換と産業の変化、地域格差、交通といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、地域の特徴を考察・理解させる。	ロシア アンゴロアメリカ ラテンアメリカ	知：ロシアの歴史的背景や民族、自然、産業の変化、地域格差、交通について、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 思：ラテンアメリカの歴史的背景や民族、自然、産業、貿易、社会問題について、日本や環太平洋地域との関係と関連づけながら考察することができる。	○	○	○	14
	アンゴロアメリカについて、歴史的背景、民族・文化、農業、鉱工業、都市・居住問題といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それらを結びつけて地域の特徴を考察・理解させる。						
3 学 期	タンザニアについて、自然、農業、歴史的背景と民族、社会問題、鉱工業、貿易、経済連携といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、地域の特徴を考察・理解させる。	オーストラリア ニュージーランドと島嶼国	知：オーストラリアの歴史的背景や民族、自然、産業、世界との結びつきについて、その特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 思：地図や統計を活用し、さまざまな課題や今後の日本の関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。	○	○	○	16
	オーストラリアについて、自然と産業、歴史的背景と民族、都市・居住問題といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それらを結びつけて地域の特徴を考察・理解させる。						
	ニュージーランドとオセアニアの島嶼国について、自然、農業、歴史的背景と民族、文化といった項目を整理しながら基本的な知識を得得し、それらを結びつけて地域の特徴を考察・理解させる。						
							合計
							70